

令和4年度地域生活支援センターさんねっと事業報告

1. はじめに

柏原市在住の障がいのある方に対し、自立した生活が送れるよう各種の相談を行うとともに、各種障害福祉サービス利用のための援助、調整を行った。

また、各種障害福祉サービスが円滑に利用できるよう、サービス等利用計画の作成及び適切なサービス提供状況を確認するモニタリングを行った。

その他、必要に応じて家庭や事業所訪問、サービス担当者会議の開催等、当事者を始め関係機関等との連携を図りながら、本人ならびにその家族の福祉の向上を図った。

さらに、新型コロナウイルスの感染状況に合わせ、感染予防を徹底しながら定期訪問や緊急対応を行った。

2. 柏原市障害者支援センター運営事業

柏原市からの委託を受けている一般相談については、実数として122人(内サービス等利用計画契約者99人)の方々に支援を行った。支援方法は関係機関との調整が一番多く、全体の47%を占めている。これは利用者への支援だけではなく、関係機関がチームとして一体的に支援する必要性が高まっている結果と言える。述べ相談件数は3,331件と前年度に比べて減少している。令和3年度に緊急ケースとして対応していたいくつかの案件が施設入所支援や共同生活援助の利用に繋がったことと終了したケースが出たためと思われる。

障害福祉サービスの利用については、柏原市をはじめ近隣市の事業所の開拓、利用調整並びに利用定着等、社会資源の開拓とサービスの向上に努めた。

(1) 相談支援を利用している障がい者等の人数

	人数	身体障害	重症心身	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳	その他
障害者	120	1	5	84	15	8	0	7
障害児	2	0	0	2	0	0	0	0
計	122	1	5	86	15	8	0	7

3年度 127 2 4 92 11 7 0 11

(2) 支援方法

訪 問	来 所 相 談	同 行	電 話 相 談	電 子 メー ル	個 別 支 援 会 議	関 係 機 関	そ の 他	計
362	83	29	330	97	30	906	83	1,919

3 年度 352 108 61 607 79 35 1,356 40 2,583

(3) 支援内容

	福祉サービスの利用等に関する支援	障害や病状の理解に関する支援	健康・医療に関する支援	不安の解消・情緒安定に関する支援	保育・教育に関する支援	家族関係・人間関係に関する支援	家計・経済に関する支援
4 年度	1,061	291	418	325	1	492	66

3 年度 1,744 933 410 298 15 563 25

	生活技術に関する支援	就労に関する支援	社会参加・余暇活動に関する支援	権利擁護に関する支援	その他	計
4 年度	163	51	193	149	131	3,331

3 年度 126 101 243 112 119 4,689

3. 障害福祉サービス等利用計画（計画相談）

今年度、計画相談の登録者は99人で、他市の事業所の利用も含めてサービス等利用計画の策定、モニタリングを行った。

利用者の障がい種別に大きな変化はないが、新型コロナウイルス感染防止策で電話等でのモニタリングが増加した。

登録者数	知的障害	身体障害	重症心身障害	精神障害	発達障害	その他	合計
障害者	78	1	5	8	7	0	99
障害児	0	0	0	0	0	0	0
合計	78	1	5	8	7	0	99

3 年度 者 85 1 6 10 6 0 108

児 1 0 0 0 0 0 1

合計 86 1 6 10 6 0 109

計画作成・モニタリング件数

計画作成	90
モニタ リング	332

合計 422

3年度 計画 105

モニタ 358 合計 463

4. 当事者支援（余暇活動への支援、社会参加の促進等）

当事者支援活動は、よりご本人たちが主体となって活動していくことを目的に、余暇支援、社会参加及び日常生活技術の習得等を目的に運営している。

令和2年度以降、コロナ過での活動について見直しを行った結果、室内活動が中心のさえらの会、ゆいの会、わおんの会については令和4年度で活動を終えた。

じゃむの会、さをり織りについては令和5年度も当事者の会役員会と一緒に活動の検討を引き続き行う。

じゃむの会

月 日	内 容	参加人数	場 所
4月 2日	花見	14	史跡高井田横穴公園
11月 5日	焼き芋	14	ひなた
12月 22日	役員会	1	さんねっと

わおんの会（第3日曜日）

月 日	場 所	参 加 人数	内 容
4月 17日	ひなた	3	歌、紙芝居、運動遊び、講師とピアノ連弾等
5月 15日	ひなた	3	歌、紙芝居、運動遊び、講師とピアノ連弾等
6月 19日	ひなた	3	歌、紙芝居、運動遊び、講師とピアノ連弾等
7月 17日	ひなた	3	歌、紙芝居、運動遊び、講師とピアノ連弾等
11月 20日	ひなた	3	歌、紙芝居、運動遊び、講師とピアノ連弾等
1月 15日	ひなた	3	歌、紙芝居、運動遊び、講師とピアノ連弾等
3月 19日	ひなた	3	歌、紙芝居、運動遊び、講師とピアノ連弾等

5. 特別強化事業

(1) 地域における相談支援事業所の役割の広報と啓発

柏原市障害者自立支援協議会事務局会議をはじめ、各部会に積極的に参加すると共に関係機関との連携強化を図った。

(2) 法人内連携の強化

高井田苑会議への参加をはじめ、利用者支援を通して高井田苑、ホームにじとの連携や情報の共有に努めた。

6. 終わりに

令和4年度も令和3年度と同様に新型コロナウイルス禍において、事業所、家庭等への訪問頻度の減少や余暇支援の休止等を余儀なくされた一年であった。

しかしながら、厚生労働省の定義のとおり、「サービス等利用計画についての相談及び作成などの支援が必要と認められる場合に、障害者（児）の自立した生活を支え、障害者（児）の抱える課題の解決や適切なサービス利用に向けて、ケアマネジメントによりきめ細かく支援するものです。」を相談支援の基本理念として、今後とも安心かつ適切なサービス提供に努めたい。

令和5年度は、柏原市障害福祉課とも連携し新規の相談ケースに対応していきたい。

(別紙) 令和4年度研修実績

実施日	研修内容	対象者
6/22	ヒューマンエラーによる事故防止の取り組み	管理者
7/6・10/5 7/2・10/21	ACTを活用した支援を学ぶ研修	相談員1名
8/28	子育て支援講座(性をめぐる子育て支援)	相談員1名
9/21～ 10/3	柏原市障害者自立支援協議会研修(人権研修)「成年後見制度と権利擁護について」	管理者 相談員2名
10/26	障害者虐待と身体拘束防止(人権研修)	管理者 相談22名 非常勤職員1名
10/30	福祉領域における心理職の役割	管理者
11/22	令和4年度南河内障害者支援センター連絡会研修会 本人が望む支援のカタチ～ピアカウンセリングから考える寄り添い～	相談員1名
12/11	心の健康・文化フォーラム～子どもの「こころ・いのち」に応える	相談員1名
2/11	仕事と家庭を両立するための意識改革	管理者
2/17	障害者・高齢者虐待防止研修(人権研修)	管理者
3/6～19	「意思決定支援の基礎について」 (柏原市自立支援協議会研修)	管理者 相談員2名
3/6～31	「障害者福祉施設等における虐待の防止と対応の手引き」を基にした研修(資料配布による人権研修)	管理者 相談員2名 非常勤9名
3/7	知的障がいがある自閉スペクトラム症の方への支援のポイント	相談員1名